



## 平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年5月14日  
上場取引所 東

上場会社名 アーキテクト・スタジオ・ジャパン株式会社  
コード番号 6085 URL <http://www.asi-net.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長  
定時株主総会開催予定日 平成26年6月25日

(氏名) 丸山 雄平  
(氏名) 松田 静夫  
有価証券報告書提出予定日 平成26年6月26日  
TEL 06-6363-5701

配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期の業績(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	1,582	17.3	272	53.5	254	44.1	141	35.1
25年3月期	1,349	3.2	177	39.4	176	41.7	105	52.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期	109.70	108.29
25年3月期	86.86	—

(参考) 持分法投資損益 26年3月期 一百万円 25年3月期 一百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期	1,773	1,322	74.6	868.95
25年3月期	1,126	607	53.9	501.85

(参考) 自己資本 26年3月期 1,322百万円 25年3月期 607百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年3月期	326	△73	475	1,034
25年3月期	150	△36	△78	306

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

### 3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	747	△15.4	△26	—	△26	—	△26	—	△17.08
通期	1,755	10.9	210	△22.8	210	△17.6	126	△11.2	82.79

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

26年3月期	1,522,000 株	25年3月期	1,210,000 株
26年3月期	— 株	25年3月期	— 株
26年3月期	1,293,843 株	25年3月期	1,210,000 株

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表に対する監査手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	2
2. 企業集団の状況 .....	3
3. 経営方針 .....	4
(1) 会社の経営の基本方針 .....	4
(2) 目標とする経営指標 .....	4
(3) 中長期的な会社の経営戦略及び会社の対処すべき課題 .....	4
4. 財務諸表 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

### (1) 経営成績に関する分析

#### ① 当期の経営成績

当期におけるわが国経済は、デフレからの脱却と経済再生の実現を目指す政府の経済政策や日銀による大胆な金融緩和等の政策効果を背景に、企業収益は改善、個人消費や設備投資にも持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかな回復の動きを示し、底堅く推移してまいりました。

住宅業界におきましては、景気回復傾向のもとで消費マインドが改善し住宅取得意欲の向上がみられたほか、消費税引き上げ前の駆け込み需要もあって、平成25年度の新設住宅着工戸数は98万戸（対前年比10.6%増）となり4年連続で増加いたしました。

このような状況の下、当社はASJブランドの向上・浸透を目的とした『建築家のアスリートたち』のTV放映の継続やマーケティングの強化を図るとともに、新規スタジオの開設、ASJアカデミー会員の新規入会促進、スタジオに対する営業支援諸施策の実施等、積極的な営業活動に注力いたしました。特に上期におきましては、消費税増税に係る経過措置に伴う駆け込み需要の影響もあり、加盟建設会社における工事請負契約金額が増加いたしましたので、売上、利益とも高い伸びを示しました。また、下期におきましては、次年度以降の業績向上に資するべくイベント支援策の強化のための販促促進費用を増加させるとともに、一時費用として株式公開費用を計上いたしました。これらの費用も吸収することができました。

その結果、当期の売上高は1,582,788千円（前年同期比17.3%増）、営業利益は272,177千円（前年同期比53.5%増）、経常利益は254,803千円（前年同期比44.1%増）、当期純利益は141,938千円（前年同期比35.1%増）と過去最高益を達成いたしました。

#### ② 今後の見通し

今後のわが国経済は、新興国経済の下振れによる景気下押しリスクや消費税増税の悪影響といったマイナス要因を払拭できない恐れはあるものの、次第にその悪影響が薄れ、各種政策の効果が発現する中で、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されております。

住宅業界におきましては、消費マインドの改善等もあり住宅着工は引き続き堅調に推移するものと思われませんが、消費税増税前の駆け込み需要の反動減や建築施工における人手不足、建設資材価格の上昇等により、短期的には不透明な状況が予想されます。

このような状況の下、当社は東証マザーズ市場への株式上場を契機としてASJ建築家ネットワーク事業の一層の強化を図るとともに、平成26年4月をスタートとする3ヵ年の中期経営計画に基づき、全力を傾注してその推進に取り組んでまいります。次期の業績予想につきましては、売上高1,755,000千円を計画しておりますが、横浜ランドマークタワーに「建築家情報空間」(ASJ YOKOHAMA CELL)を開設(4月20日オープン)するほか、ASJアカデミー会員の新規入会数確保のためイベント支援等の販促経費を増額するなど、先行投資を行うことから、営業利益210,000千円、経常利益210,000千円、当期純利益126,000千円を見込んでおります。

### (2) 財政状態に関する分析

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当事業年度末における総資産は1,773,208千円となり、前事業年度末と比べて646,449千円増加いたしました。

流動資産は前事業年度末に比べ、602,591千円増加し、1,536,197千円となりました。これは主に現金及び預金の増加727,635千円、売掛金の減少60,918千円、未収入金の減少29,515千円等によるものです。

固定資産は前事業年度末に比べ、43,858千円増加し、237,011千円となりました。これは主に長期前払費用の増加6,415千円、差入保証金の増加32,038千円等によるものです。

当事業年度末における負債合計は450,665千円となり、前事業年度末と比べて68,858千円減少いたしました。

流動負債は前事業年度末に比べ、10,770千円減少し、433,773千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の減少23,210千円、未払金の減少3,777千円、未払法人税等の増加11,244千円等によるものです。

固定負債は前事業年度末に比べ、58,088千円減少し、16,892千円となりました。これは長期借入金の減少58,088千円によるものです。

当事業年度末における純資産は1,322,543千円となり、前事業年度末と比べて715,308千円増加いたしました。これは資本金及び資本剰余金がそれぞれ286,685千円増加したこと、利益剰余金の増加141,938千円によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況及び純資産の状況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ、727,635千円増加し1,034,459千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は326,212千円（前年同期比116.1%増）となりました。これは主に税引前当期純利益246,553千円、減価償却費27,743千円、売上債権の減少額60,605千円、未収入金の減少額29,515千円等の収入要因のほか、法人税等の支払額102,149千円等の支出要因によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は73,657千円（前年同期比100.1%増）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出27,098千円、差入保証金の差し入れによる支出33,570千円等の支出要因によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は475,080千円（前年同期は78,908千円の支出）となりました。これは、株式の発行による収入552,162千円等の収入要因のほか、借入金の返済による支出81,298千円等の支出要因によるものであります。

## （参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成25年3月期	平成26年3月期
自己資本比率（%）	53.9	74.6
時価ベースの自己資本比率（%）	—	255.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	0.8	0.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	71.5	248.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）平成25年3月期の時価ベースの自己資本比率については、非上場であるため記載しておりません。

（注2）株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

（注4）有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

## 2. 企業集団の状況

当社は子会社及び関連会社を一切有しておりませんので、企業集団の状況（企業集団の業績等、連結財務諸表、セグメント情報、連結子会社の状況及びその他）については記載すべき事項はありません。

### 3. 経営方針

#### (1) 会社の経営の基本方針

当社は、『アーキテクト・スタジオ・ジャパン（ASJ）は、クライアント（お客様）と建築家と建設会社が共有する高度なプラットフォームを構築し、新しいスタイルのサプライチェーン・マネジメントを確立し、美しい日本を創造します。』を経営理念としております。

経営の基本方針は以下のとおりであります。

- ① クライアント（お客様）にご満足いただけるサービスの提案・提供を行い、顧客満足度向上を追求してまいります。
- ② 情報管理・コミュニケーション・コストマネジメントにASJが独自開発したIT技術を投下し、登録建築家及び加盟建設会社（スタジオ運営会社）とお互いに協力して事業を展開し、成果と成功の共有を目指してまいります。
- ③ 企業としての社会的責任を果たすとともに、経営基盤の強化と収益力の向上を図り、健全で持続的な成長を実現してまいります。

#### (2) 目標とする経営指標

当社は、成長性と利益率の向上を重視し、毎年の利益成長率3割以上アップを経営指標の重要な目標とし、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

#### (3) 中長期的な会社の経営戦略及び会社の対処すべき課題

わが国の新設住宅着工戸数は、少子高齢化の進展等を考慮すると、先行き大幅な増加は期待できないとみられております。しかしながら、個々のライフスタイルを重視した理想の家づくりに対するニーズは今後も着実に増大していくものと思われ、ASJ建築家ネットワーク事業の潜在顧客需要は膨大に存在すると考えられます。つまり、「建築家との家づくり」というマーケットの創造はこれからという段階であります。

ASJの使命は、スタジオ運営会社においてASJ建築家ネットワーク事業が確実な収益メカニズムとして確立されること、及び登録建築家にとっては参画することの価値が高まることであります。当社はこの使命を忘れることなく、ASJ建築家ネットワーク事業をさらにマーケットに周知させ、より多くのお客様に建築家との家づくりにチャレンジしていただくとともに、以下の点を主要課題と認識して取り組んでまいります。

- ・登録建築家及び加盟建設会社の新規獲得と加盟建設会社が運営するスタジオ展開の促進に注力する。
- ・ASJ建築家ネットワーク事業において重要な職務を担っているSV（スーパーバイザー）について、必要な人材の獲得と養成を行う。
- ・当社独自開発の情報管理システム（A-POS）及び建築家対応積算ソフト（COSNAVI）の一層の進化を図り、それらの戦略的活用による業務の効率化と事業規模の拡大につなげる。
- ・A-POSとCOSNAVIを融合し、ASJポータルサイトとして供給サイド（資材メーカー、商社、代理店といった加盟建設会社の協力業者）にも利用の輪を広げ、新たな収益の柱に育てる。

ASJ建築家ネットワーク事業は「建築家との家づくり」を訴求ポイントとし、住宅・リフォーム・商業施設等の建設計画がある顧客に、建築家を活用した建物づくりの選択肢を提供するものであります。当社は、「建設計画のある方が、最寄りのASJのスタジオを利用するのは当たり前」となることを目指してまいります。

## 4. 財務諸表

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当事業年度 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	306,824	1,034,459
売掛金	300,231	239,313
商品	3,828	3,279
前払費用	15,484	13,623
繰延税金資産	15,478	19,189
従業員に対する短期貸付金	4,012	3,957
立替金	41,695	13,400
未収入金	266,261	236,745
その他	5,148	5,317
貸倒引当金	△25,359	△33,090
流動資産合計	933,606	1,536,197
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	31,601	31,460
工具、器具及び備品（純額）	650	365
有形固定資産合計	32,252	31,826
無形固定資産		
ソフトウェア	65,551	65,272
ソフトウェア仮勘定	3,990	7,665
無形固定資産合計	69,541	72,937
投資その他の資産		
従業員に対する長期貸付金	5,790	4,851
長期前払費用	18,895	25,310
差入保証金	52,428	84,467
破産更生債権等	8,299	5,380
繰延税金資産	2,899	2,990
その他	11,345	14,627
貸倒引当金	△8,299	△5,380
投資その他の資産合計	91,358	132,247
固定資産合計	193,152	237,011
資産合計	1,126,758	1,773,208

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当事業年度 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	22,040	28,874
1年内返済予定の長期借入金	43,358	20,148
未払金	235,353	231,575
未払費用	45,039	44,840
未払法人税等	62,186	73,431
前受金	669	357
預り金	21,301	16,977
賞与引当金	2,940	3,465
工事完成保証損失引当金	—	8,250
その他	11,656	5,854
流動負債合計	444,543	433,773
固定負債		
長期借入金	74,980	16,892
固定負債合計	74,980	16,892
負債合計	519,523	450,665
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	89,070	375,755
資本剰余金		
資本準備金	88,000	374,685
資本剰余金合計	88,000	374,685
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	430,165	572,103
利益剰余金合計	430,165	572,103
株主資本合計	607,235	1,322,543
純資産合計	607,235	1,322,543
負債純資産合計	1,126,758	1,773,208



(2) 損益計算書

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	1,349,179	1,582,788
売上原価		
商品期首たな卸高	5,878	3,828
当期商品仕入高	234,398	276,688
合計	240,276	280,516
商品期末たな卸高	3,828	3,279
売上原価合計	236,448	277,236
売上総利益	1,112,730	1,305,551
販売費及び一般管理費	935,407	1,033,374
営業利益	177,323	272,177
営業外収益		
受取利息	426	369
為替差益	476	—
受取手数料	300	272
助成金収入	700	—
保険返戻金	—	191
その他	25	93
営業外収益合計	1,928	926
営業外費用		
支払利息	2,234	1,310
株式交付費	—	4,279
株式公開費用	—	12,711
その他	152	—
営業外費用合計	2,386	18,301
経常利益	176,865	254,803
特別損失		
工事完成保証損失引当金繰入額	—	8,250
特別損失合計	—	8,250
税引前当期純利益	176,865	246,553
法人税、住民税及び事業税	77,843	108,417
法人税等調整額	△6,075	△3,802
法人税等合計	71,767	104,614
当期純利益	105,097	141,938

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	89,070	88,000	88,000	325,067	325,067	502,137	502,137
当期変動額							
当期純利益				105,097	105,097	105,097	105,097
当期変動額合計	—	—	—	105,097	105,097	105,097	105,097
当期末残高	89,070	88,000	88,000	430,165	430,165	607,235	607,235

当事業年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	89,070	88,000	88,000	430,165	430,165	607,235	607,235
当期変動額							
新株の発行	278,185	278,185	278,185			556,370	556,370
新株の発行 (新株予約権の行使)	8,500	8,500	8,500			17,000	17,000
当期純利益				141,938	141,938	141,938	141,938
当期変動額合計	286,685	286,685	286,685	141,938	141,938	715,308	715,308
当期末残高	375,755	374,685	374,685	572,103	572,103	1,322,543	1,322,543

## (4) キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	176,865	246,553
減価償却費	23,257	27,743
のれん償却額	21,065	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,253	4,811
為替差損益 (△は益)	△476	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△37,760	60,605
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,213	6,834
受取利息	△426	△369
支払利息	2,234	1,310
株式公開費用	—	12,711
工事完成保証損失引当金の増減額 (△は減少)	—	8,250
未収入金の増減額 (△は増加)	△48,596	29,515
未払金の増減額 (△は減少)	50,038	△3,264
その他	△14,805	34,703
小計	175,437	429,405
利息及び配当金の受取額	324	267
利息の支払額	△2,124	△1,311
法人税等の支払額	△22,717	△102,149
営業活動によるキャッシュ・フロー	150,919	326,212
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	—	△4,127
無形固定資産の取得による支出	△28,169	△27,098
従業員に対する貸付けによる支出	△4,950	△12,200
従業員に対する貸付金の回収による収入	6,510	13,193
保険積立金の積立による支出	△3,832	△4,127
差入保証金の差入による支出	—	△33,570
長期前払費用の取得による支出	△6,594	△6,572
その他	228	844
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,807	△73,657
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△10,000	—
長期借入金の返済による支出	△68,908	△81,298
株式公開費用の支出	—	△12,711
株式の発行による収入	—	552,162
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	16,928
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78,908	475,080
現金及び現金同等物に係る換算差額	476	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	35,680	727,635
現金及び現金同等物の期首残高	271,143	306,824
現金及び現金同等物の期末残高	306,824	1,034,459

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ASJ建築家ネットワーク事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
1株当たり純資産額	501円85銭	868円95銭
1株当たり当期純利益金額	86円86銭	109円70銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	－円－銭	108円29銭

- (注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式はありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
2. 当社は、平成25年12月18日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、新規上場日から当事業年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	105,097	141,938
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る当期純利益(千円)	105,097	141,938
普通株式の期中平均株式数(株)	1,210,000	1,293,843
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	－	16,858
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要		－

(重要な後発事象)

該当事項はありません。